

AIと 憲法・民主主義

中部弁護士会連合会

定期弁護士大会 シンポジウム

2024年10月18日（金）9:30～11:45（9:00 開場）★見逃し配信あり（要事前申込み）
ザ・グランユアーズフクイ 3F 天山の間（福井市大手 3-12-10 ホテルフジタ福井内）



UNO SHIGEAKI

ビデオインタビュー 「現代民主主義の課題とAI」

東京大学社会科学研究所
教授 宇野重規 氏
（政治思想史・政治哲学）

基調講演

「AIと憲法・民主主義～
今、私たちに起こっていること」

慶應義塾大学大学院法務研究科
教授 山本龍彦 氏（憲法学）



YAMAMOTO TATSUHIKO



ANNO TAKAHIRO

パネルディスカッション

山本龍彦 氏（慶應義塾大学教授）
安野貴博 氏（AIエンジニア・起業家・SF作家）
後藤正邦 弁護士（日弁連市民のための法教育委員会副委員長）
福井弁護士会



宇野重規

東京大学社会科学研究所教授 (政治思想史・政治哲学)

1991 年 東京大学法学部卒業
1996 年 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士 (法学)
2011 年 現職

著書 (最近の主要著書のみ)

『民主主義とは何か』(講談社現代新書、2020 年)『石橋湛山賞』
『自分で始めた人たちー社会を変える新たな民主主義』(大和書房、2022 年)
『日本の保守とリベラルー思考の座標軸を立て直す』(中公選書、2023 年)
『近代日本の「知」を考える。ー西と東との往来』(ミネルヴァ書房、2023 年)



山本龍彦

慶應義塾大学大学院法務研究科教授 (憲法学)

1999 年 慶應義塾大学法学部卒業
2005 年 同大学院法学研究科博士課程単位取得退学
2007 年 博士 (法学)
2014 年 現職

著書 (最近の主要著書のみ)

『AI と憲法』(日本経済新聞出版、2018 年)[編著]
『GAFA 規制の死角 日本は「下請け」のままなのか』(中央公論社、2019 年)[共著]
『「超個人主義」の逆説ーAI 社会への憲法的警句』(弘文堂、2023 年)
『アテンション・エコノミーのジレンマ (関心) を奪い合う世界に未来はあるか』
(KADOKAWA、2024 年)



安野貴博

AI エンジニア・起業家・SF 作家

東京大学、松尾研究室出身。
外資系コンサルティング会社を経て、AI スタートアップ企業を二社創業。
デジタルを通じた社会システム変革に携わる。日本 SF 作家クラブ会員。
2024 年東京都知事選に出馬、AI を活用した双方向型の選挙を実践。

著書 (長編小説のみ)

『サーキット・スイッチャー』(早川書房、2024 年)
『松岡まどか、起業します AI スタートアップ戦記』(早川書房、2024 年)

私たちは、日常生活のさまざまな場面で、デジタル技術の恩恵を受け、一方では、デジタル技術によって大量かつ容易に蓄積されるプライバシー情報に対して疑問も抱きながら、デジタル技術に浸りきった生活を送っています。AI の普及によって、私たちの生活、その基盤となるべき民主主義にどのような影響があるのか、そして、どのように向き合っていくべきかについて、この分野の第一人者をお招きし、考えてみたいと思います。

参加方法

会場参加

事前申込みは不要です。当日午前 9 時から会場入口にて受付を開始します。聴覚障害者のために手話通訳をご用意しています。

リモート参加

事前申込みが必要です。10 月 11 日 (金) までに、以下の URL または二次元コードからお申し込みください。Zoom ウェビナーによる視聴となります。また、申込者限定でアーカイブ配信も行います。

<https://forms.gle/i35BQNeW4Mqf42jT6>

参加費無料

